



癌を発症し、勤め先を辞めた人、解雇された人に対する再就労対策を要望する陳情

【陳情項目】

癌患者で勤め先をやめてしまった人について、平常時には通常の勤務が可能であるが、定期的な通院や再発の可能性があることを理解した上で雇用しようとする企業を紹介する取組みの^入実施_しに^入か_して、市に働きかけてください。

【陳情理由】

○厚生労働省の資料によれば、癌であることが判明したことで、自発的に退職した人、退職を余儀なくされた人、解雇された人は3割に上ります。

○癌だからと言って勤め先を辞める必要は無いという建前はあるでしょうが、支援を得られなかったり責任を感じたりして自ら退職するケースは多数あります。

また、企業側でも業績上雇い続けられない場合もあるでしょう。

○現役世代で就労可能なのに、勤め先をやめてしまった場合、癌を抱えていると再雇用は難しくなり、生活保護に頼らざるを得なくなる人も多いようです。生活保護を増やさないためにも、就労支援によって自立を促す必要性はあると思います。

○相談窓口は支援制度等の紹介が主で、再就労の情報はほとんどありませんし、ハローワークでも癌等持病に理解がある企業まではわかりません。

癌を一度発症している人は、長距離の通勤を避け、なるべく地元で就職したいものでしょう。

社会福祉の一環として、癌を発症した人でも受け入れられる企業等の情報を市で収集紹介を行っていただきたいと願っております。

○厚生労働省 HP の「疾患を抱える従業員(がん患者など)の就業継続」ページを参照しました。

令和2年1月31日

藤沢市下土棚 211-2 コーポレート湘南台 2-104

泉 

藤沢市議会議長

加藤 一 様